

# 地域づくり通信

第3号

平成22年 3月

「地域の今を知る集い」を1月23日(土)に開催しました。

## 今回のねらい

瀬谷区役所では、地域の課題解決や地域運営の改善・活動推進の一助とするため、「地域の今を知る集い」を開催しています。昨年度は、自治会、地区社協など地域関係者の方々にお集まりいただき、統計データ等を示して、地域の現状や将来像について、地域関係者間での情報共有、地域ごとの議論のきっかけづくりを図りました。

今回の「地域の今を知る集い」は、「まちの防災知恵袋」や「気づきのキャッチ・見守りのリレー」等を通じて、「見守り」を推進してきた地域の様々な団体が一堂に会し、意見交換を行うことで、地域が一体となった活動の推進の一助としていただくため、開催いたしました。

## 第一部

瀬谷公会堂

午後1時30分～午後2時30分

講演 テーマ 「地域のつながりと見守り」  
田園調布学園大学 村井祐一教授

「地域のつながりと見守り」をテーマに、他地区の事例を交えながら、講演をいただきました。

### ◇講演概要

- ・見守り活動のポイントは「その人は、誰に見守られたいのか」という、対象者の気持ちに配慮することです。
- ・日常的な相互交流（つながり）の機会や場を醸成することは、地域の活動を充実させる基盤となります。
- ・地域の見守りは、住民のふれ合いと地域理解による「地域の今を知る」からはじまります。



田園調布学園大学 村井祐一教授

## 第二部

公会堂会議室、区役所会議室等

午後2時30分～午後3時45分

### ワークショップ（意見交換）

テーマ：「地域のつながりづくりを行うために取り組むべき事とは」

各地区にわかれて、ワークショップ（意見交換）を行いました。

※ ワークショップの内容については、次ページをご覧ください！

## 第二部：地区ごとにわかれてのワークショップ(意見交換)

第二部では、各地区にわかれて、自治会・町内会長、地区社会福祉協議会代表、民生委員・児童委員代表、地域福祉保健計画推進母体や地域ケアプラザ職員、区社会福祉協議会職員、区役所地区支援チーム職員などのメンバーが一堂に会し、ワークショップ(意見交換)を行いました。

### テーマ：地域のつながりづくりを行うために取り組むべき事とは

上記のテーマで、重要だと思う項目をあげてもらいました。

#### 阿久和南部地区



##### 1 把握

自治会等が1人暮らし高齢者や障害者の世帯を把握する。

##### 2 イベント・地区活動

地域住人が地域の催しに一層の関心を高める。

##### 3 場の設定

##### 4 情報・手段

##### 5 中核的な組織等

#### 三ツ境地区



##### 1 地域の見守り

地域の見守り(高齢単身者中心に)ができるように具体的に組織化し、推進する。

##### 2 自治会の活動

自治会単位で災害時を想定した防災訓練を実施する。

##### 3 コミュニケーション

##### 4 地区社協の活動強化

##### 5 地域行事への活動参加

#### 瀬谷第一地区



##### 1 見守りを強める

地区社協と民生委員でできるだけ多くの高齢者を見守っていききたい。

##### 2 自治会と社協など団体のつながりを強める

話し合いの場を定期的に設ける。

##### 3 日頃の協働を強める(仲間づくり、人材発掘)

##### 4 地域での広報活動の強化

##### 5 行政の情報提供の推進

#### 本郷地区



##### 1 見守り(ご近所同士の見守り、支えあい)

各自治会単位で見守りの会を立ち上げる。

##### 2 自治会活動(自治会活動を中心とした取り組み)

地区連合単位での連携強化による自治会活動の活性化。

##### 3 サロン(サロンの活用)

##### 4 災害対策(災害時要援護者対策)

##### 5 その他

## 出席者の声（出席人数 第一部:182名、第二部:102名）

- ◇役員のみでなく地域の人たちが出席できるようなテーマ、出席したいと思うようなテーマであり、今回出席して良かった。
- ◇とてもわかりやすい話の講演だった。つながりの大切さがわかった。
- ◇話合いの場ができたことが良かった。
- ◇いつも同じメンバーということのないよう工夫してほしい。
- ◇ワークショップは1時間程度で結論を出すのは難しい。
- ◇地域ごとに集まって討論するのは大変良い。
- ◇地域と行政とのコミュニケーションを多くしたい。

など

### 瀬谷北部地区



#### 1 情報共有

地区社協を知ってもらう。

#### 2 交流の場づくり

サロンを立ち上げる。

#### 3 地域の安全・安心づくり

子どもの見守り等、今少し父母の協力が欲しい。

#### 4 交流活動

挨拶運動を行う（町内会から地域へ）

### 瀬谷第二地区



#### 1 組織づくり・老人会

自治会内に様々な特別活動グループを設置する。

#### 2 地域の状況把握

地域内居住者の状況を把握し、見守り活動について考える必要がある。

#### 3 情報共有・情報提供・コミュニケーション等

#### 4 自治会活動の活性化

#### 5 人材育成

### 細谷戸地区



#### 1 情報共有・収集・公開

一人暮らし世帯や高齢者世帯を中心とした連絡先の情報収集、名簿作成をする。

#### 2 人材育成

役員やボランティアのなり手が固定化しているので、人材の育成をする。

#### 3 防災・防犯

#### 4 子ども・高齢者の交流

#### 5 見守り

### 瀬谷第四地区



#### 1 人材発掘・人材育成

人材がない（人材作り）。

#### 2 解決すべき問題・課題

互譲精神を養う。相互理解を基本とし協調する。

#### 3 『場』づくり(ハード等)

サロン等をつくる。

#### 4 交流の機会

#### 5 連携(つながり)

## 宮沢地区



- 1 活動拠点(居場所)  
空き部屋を地域拠点として活用する。
- 2 人材育成  
若い世代が地域活動に参加し、ボランティアとなるような企画を立てる。
- 3 地域活動
- 4 連携
- 5 情報共有

## 相沢地区



- 1 普段参加していない人も参加できる活動を考える  
地域で行われている地域活動の情報共有。
- 2 情報の把握方法をみんなで考える
- 3 人材の確保・育成
- 4 集える場所の確保
- 5 班単位などつながりをつくりやすい活動体制

独自のテーマで話し合いをしました

## 阿久和北部地区



- 1 第二期地域福祉保健計画地区別計画等について  
計画と見守り体制をトータルに考え、見守り体制をベースとして、防災やサロン、各種地域イベントを総合的に取り組んでいく。
- 2 各自治会町内会の課題等について  
各自治会町内会での課題、問題点は共通するものも多いので、話し合いの場を設けて、課題解決や情報共有をはかりたい。

## 南瀬谷地区



- 1 地区懇談会の開催  
次期の地域福祉保健計画の地区別計画作成に向けた意見交換会を実施する。
- 2 各組織の役員の成り手が少ない中で、役員以外の人の認識をどう高めるか。

## 編集・発行

瀬谷区役所 区政推進課 地域力推進担当  
☎045(367)5789  
〒246-0021  
横浜市瀬谷区二ツ橋町 190 番地  
発行/平成22年3月

## 編集後記

今回の「地域の今を知る集い」は、「地域のつながりと見守り」をテーマに講演や地区ごとに分かれての話し合いなどを行いました。内容はいかがだったでしょうか。日頃、地域の方々と、区役所職員や区社会福祉協議会職員、地域ケアプラザ職員とで話合う機会は少ないと思いますが、このような場で地域の現状や課題などについて話し合うことは、地域の方々とのつながりづくりにも重要なことと感じております。